

春日山原始林保全に関わる検討・事業進捗状況

資料 0

H23 年度

基礎調査の実施
 【既往文献等知見の整理、大径木調査(173本確認)、ギャップ調査(16箇所確認)】

H24 年度

基礎調査の継続
 【既往文献等知見の充実、大径木調査の継続(計369本確認)、ギャップ調査の継続(計64箇所確認)】
後継樹生育環境調査手法の検討

2/8 第1回春日山原始林保全計画検討委員会
 議事 春日山原始林の現況と課題整理について 春日山原始林の保全手法について
 まとめ ・ナラ枯れ対策については、緊急を要する保全対策として位置づける
 ・春日山原始林とシカの共存については、植生保護柵の設置を前提に検討していく
 ・生育環境条件調査の充実する

ヒアリング、文献等調査

後継樹生育環境調査の実施
 【森林更新の状況を代表する林分に調査プロット設置(16箇所)地形条件、植生、採食・剥皮状況、土壌水分条件、光条件等を確認】

緊急を要する保全対策の実施
 ・ナラ枯れ対策の実施
 ・実証実験(植生保護柵の設置)に向けた取り組みの実施

3/18 第1回部会
 議事 花山・芳山地区の保全・利活用の考え方について
 檜皮採取試行実験について

H25 年度

実証実験箇所(植生保護柵設置箇所)の抽出
 【設置箇所数、数量、型式等の検討】

3/20~4/16 檜皮採取実験の実施

4/26 第2回春日山原始林保全計画検討委員会
 議事 春日山原始林保全の基本的な考え方と保全方策(案)について
 実証実験計画(案)と緊急を要する保全方策について その他
 まとめ ・植生保護柵の設置目標面積について検討を行う
 ・下層植生の保全も勘案し、植生保護柵設置のあり方を検討する
 ・植生保護柵の型式には、実証実験という考え方で柔軟に検討し設置すべきである
 ・外来樹種の駆除方法は、参画の方法も併せて検討すべきである

春日山原始林保全方策の検討
保全対策実施面積(目標値)の検討
 ・土壌水分条件、光条件等、既往調査結果との比較検討
 ・実証実験箇所の現況把握
基本計画(素案)の策定
 ・基本計画(素案)の検討 ・人工林活用計画(案)の検討
 ・保全方策の執行体制と多様な主体の参画のあり方の検討
今後の検討課題の整理
 ・第3回保全計画検討委員会以降のスケジュールの検討

実証実験の実施
植生保護柵 実施設計
現状変更申請
植生保護柵の設置
 ・第2回検討委員会で提示した実証実験実施箇所(16箇所)のうち、5箇所において植生保護柵を設置(8月末設置完了)

9/4 第3回春日山原始林保全計画検討委員会
 議事 平成25年度実証実験の進捗状況について
 春日山原始林保全計画 基本計画(素案)について
 今後のスケジュール

10/7~11/8 檜皮採取実験の実施

基礎情報の充実調査
 ・下層植生フロア調査
 ・外来樹種侵入状況調査
実証実験の検討調査(継続)
 ・第1次設置箇所の設置手法の検討
 ・次期実施箇所の検討

第4回春日山原始林保全計画検討委員会
 (4月開催予定)

2/19 第2回部会
 議事 花山・芳山地区の保全・利活用について
 檜皮採取実験結果報告
 その他地域での檜皮採取の可能性について
 今後のスケジュール

H26 年度~

継続的な保全・再生事業の展開
 基礎調査の充実 保全計画(実施計画)・マニュアルの策定 実証実験の実施(継続)